



道共募第417号
平成24年8月27日

各市町村共同募金委員会 事務局長 様

社会福祉法人北海道共同募金会
事務局長 天羽 啓
《公印略》

“赤い羽根助成金” 要望事業の「公募」による募集について
(平成24年度第2次募集分)

本会では福祉分野における草の根の住民活動を支援する目的から、一般の住民団体・グループを対象に“赤い羽根助成金”の一般公募を実施しておりますが、平成24年度第2次分の募集開始にあたり、別添のとおり募集（応募）要領を送付いたしますのでお目通しください。

また、応募の受付は本会が直接行いますので、本件に関する問い合わせ等がございましたら、お手数でも本会宛に照会いただくようご回答ください。

【同封資料】

1. “赤い羽根共同募金助成金” 募集（応募）要領
2. 赤い羽根共同募金助成金—応募用紙—
3. 上記2. の記入要領

“赤い羽根共同募金助成金”募集（応募）要領 《平成24年度 第二募集分》

赤い羽根共同募金では、公の援助を現に受けていない先進的で開拓的な草の根の住民福祉活動を応援するため、「公募」により活動資金を助成いたします。

【基本的な考え方】

次のような先進的・開拓的な草の根の住民福祉活動を応援します。

- ・現状の活動に甘んじることなく、福祉的な課題を先取りしていくような、または、より高い目標を目指していくような活動
- ・住民の参加、協力により行政依存ではなく独自性をもって自ら問題を解決していくような活動

【助成の対象】

《対象となる活動団体・グループ》

- ◆北海道内で活動する「住民団体やグループ」で、活動実施に要する資金の確保に困難をきたしていること。
- ◆自主性・非営利・公開を原則とすること。
 - ・自主性～特定の企業、政党、宗教団体等から独立し運営されていること
 - ・非営利～その活動・事業から生じる利益を構成員に分配しないこと
 - ・公開～活動の内容や財務の状況を自ら積極的に公開すること

《助成の対象となる費用》

活動のために必要な会議費、研修費、備品・機材等の購入費、PR資料などの作成費、また活動団体の運営に最低限必要な経費とします。

※ 今回の助成は、平成25年3月末までに実施される活動を対象とします。

《助成の対象として認めない費用》

- ①飲食費またはそれに類するもの。
- ②講師謝礼、報酬、人件費（時給・日給等）に類するもの。
- ③建物の増改築、付帯設備等の整備に関するもの（活動実施にあたって不可欠な増改築及び機械・機器の設置に係る必要最低限の付帯設備整備についてのみ認める）。
- ④高額、高機能なOA機器、作業機械、備品、物品等（寄付者に納得されうる範囲で機種選定の見直し等の対応をはかる）。
- ⑤研修旅行費、高額な交通費等（特に必要と認められるものについて実費のみを対象とする ※1）。

《助成限度額》

- ◆1団体50万円を限度とする（活動に必要な額を千円単位で要望すること）

《過去に助成を受けたことのある活動団体・グループからの応募について》

◆継続的な助成の制限

道内活動団体への助成機会均等をはかるため、継続的な助成については原則的に一定期間で（同一団体の同一事業については最多でも累計3回を目安として）打ち切ることとします。ただし、団体としての基盤が確立し新たな事業へと活動を発展させたい、特定の事業収入などを持たずに資金難となっている、などの場合は、最後に助成を受けてから3年以上経過していることを条件に応募を認める場合があります。

【応募の方法】

応募用紙に必要な事項を記入し、関係書類を添付のうえ、下記郵送先迄送付して下さい。
また、お知り合いで推薦する団体・グループがある場合は連絡先等をお知らせ下さい。

◆応募期間

平成24年9月1日（土）～9月30日（日）消印有効

※以降に着いたものについては助成の対象とはなりませんのでご留意下さい。

◆提出書類

本会で示す書式その他、各種の添付資料を求めます。下記の資料等について提出のないものは助成対象とできません。また、下記以外にも応募内容や団体の活動について参考となるものがあれば積極的に添付してください。

- ①赤い羽根共同募金助成金－応募用紙－（本会が示す所定のもの）
- ②赤い羽根共同募金助成金－要望内容に係る収支内訳書－（本会が示す所定のもの）
- ③団体・グループの規約・会則・定款（若しくはそれに替わるもの）
- ④収支決算書（貸借対照表と財産目録を作成している場合はそれらも含む）及び収支予算書
- ⑤事業報告書及び事業計画書（若しくはそれらに替わるもの）
- ⑥団体・グループの活動内容がわかるようなパンフレット、会報紙、機関紙（若しくはそれらに替わるもの）

※添付漏れの無いよう十分ご注意下さい。なおこの他にも応募の内容によっては見積書・カタログの添付が必要になります。

◆応募用紙郵送先／問い合わせ先

社会福祉法人北海道共同募金会 TEL 011-241-8000 〒060-0002 札幌市中央区北2条西7丁目 かでる2.7 4階
--

【決定・助成の実施】

一般住民代表による選考委員会において、活動の内容等を勘案し、それぞれ決定します。
（選考の結果助成金額が要望額よりも減額することがあります）

◆決定の通知～11月中旬ころ

◆助成金の支払い～決定より1ヶ月以内

【報告】

助成を受けた団体は、実施された活動の報告書（所定のもの）を提出いただきます。また、必要に応じて報告会への出席をお願いします。

- (※1) 交通費に関する助成の基本的な考え方は、具体的な課題を解決するため、あるいは目的を達成するための事業を計画するにあたり、必要最低限の部分について助成するものとし、なおかつ、応募団体の自主財源等によって最大限資金を確保しつつ、それでも不足する部分についての要望を対象として認めます。したがって、交通費の割合が主体となる要望については対象とできません。また、対象とする場合は、公共交通機関の運賃ベースによる積算、あるいはガソリン代の実費相当分によるものとし、費用に対して見込まれる成果についての明確なイメージや、明らかな必然性について説明のあるものについて対象とします。成果とは個人や団体内部の利益にとどまらず、広く地域に利益が還元されるものを指します。

赤い羽根共同募金助成金一応募用紙一

◎必ず「記入要領を参照の上記入下さい」

①団体・グループ名		所在地	〒 tel() - fax() -				
②代表者氏名	職業	住所	〒 tel() - fax() -				
③連絡責任者	職業	住所	〒 tel() - fax() -				
活動団体の概要	④設立年月(発足)	⑤会員数(構成)					
	⑥主たる活動内容						
	⑦事業実施年度の運営資金の状況	収	○会費(@ /年)...	円			
			○()助成金・補助金...	円			
		○()からの寄付金...	円				
		○その他()...	円				
入		○その他()...	円				
		《収入計》	円				
		支	円				
		出	円				
		《支出計》	円				
⑧要望内容区分(該当する方を○で囲む)		1. 活動の実施	2. 資料・備品・機材等購入(見積書を必ず添付のこと)				
⑨活動名称(機材名)							
助成を要望する活動概要	⑩要望する活動内容(具体的に) 《活動の対象者対象範囲、会場実施場所等》						
	⑪助成を要望する理由						
⑫活動を実施する場合		開始年月日 / 年 月 日	終了年月日 / 年 月 日				
⑬要する経費	項 目	単価	数量	金 額	自己資金額	要望する助成額	※ 北海道共同募金会受付欄
						⑭助成金要望総額 (千円未満切り捨て)	
合 計(円)							, 0 0 0 円

【注】 機関紙・パンフレット等、団体の活動内容がわかるものがある場合は添付して下さい。

また、活動団体の決算書(前年度のもの) 予算書(今年度のもの・次年度のものがあればあわせて)を添付下さい。

【記入要領】

応募用紙の記入例です。

要望する事業について、こちらで全体像が把握できるよう、直接助成金を充てる部分だけでなく事業全体の資金計画を示した資料を添付するようにして下さい(形式は自由にしてください)結構です。

赤い羽根共同募金助成金－応募用紙－

◎必ず「記入要領を参照の上記入下さい」

正式な名称を記入し	①団体・グループ名	〇〇〇〇ボランティアの会	所在地	〒000-0000 札幌市中央区北×条西×丁目×番			
要望する活動内容について説明できる	②代表者氏名	北海道太郎	職業	教師	住所	〒000-0000 札幌市手稲区前田×条×丁目×番地	
団体・グループの特徴や、具体的な活動内容などを記入し	③連絡責任者	札幌花子	職業	会社員	住所	〒000-0000 札幌市西区西野×条×丁目×番地	
ここで收支には今回の赤い羽根助成金予定額は含めま	④設立年月(発足)	平成11年4月	⑤会員数(構成)	20名 教師2名、会社員5名、主婦13名			
研修会、講座などを開催する場合は目的・対象・日程・会場・予定人数などを記入(開催要)	⑥主たる活動内容	子供を持つ女性ばかりのグループで、子供と一緒に一人暮らしのお年寄り家庭を訪問している。また、年に一回、障害児をかかえる家族とボランティアの合同宿泊療育研修を行っている。					
	⑦事業実施年度の運営資金の状況	収入	〇会費(@3千円 /年)...	60,000 円	〇事務費	30,000 円	
		〇(* *財団)助成金・補助金	30,000 円	〇会報発行	40,000 円		
		〇(* *商事)からの寄付金	140,000 円	〇訪問活動費	100,000 円		
〇その他(宿泊研修参加費)	300,000 円	〇宿泊研修費	360,000 円	〇収入計	530,000 円	〇支出計	530,000 円
⑧要望内容区分(該当する方を○で囲む)	1. 活動の実施		2. 資料・備品・機材等購入(見積書を必ず添付のこと)				
⑨活動名称(機材名)	在宅独居老人対象の手作り弁当提供を目的とした「宅配用保温機能付ランチボックス」購入						
⑩要望する活動内容(具体的に)	一人暮らしのお年寄りの家庭を訪問して話し相手になったり、家事の手伝い(買い物・炊事など)をしながら子供とも接することで、お年寄り子供双方に有意義な時間を過ごしてもらおうというねらいで実施するふれあい訪問事業。現在区内のお年寄り30名を対象に週2回の訪問を実施している。(対象者は別添の名簿のとおり) いろいろ要望を聞いている中で家庭料理を食べたいという声が多く、訪問する際に手作りのお弁当を持参するサービスを始めようと計画している。そこで、保温機能をもつランチボックス(弁当箱を購入したい。食材は各会員が持ち寄り、不足分をバザー等の収益金で補って実施する予定。						
⑪助成を要望する理由	訪問活動を実施するにあたっては、お年寄りから様々な要望がだされているが、なかでも手作り弁当の提供についてはほとんどすべての方が強く希望しており、栄養の偏りがちな一人暮らしのお年寄りの食生活をサポートし、健康管理の意識づけを浸透させるねらいからも、本会としても早期に取り組みたいと考えている。しかしながら立ち上がり間もない団体でもあり、資金の調達に苦慮しているのが現実である。						
⑫活動を実施する場合	開始年月日/平成24年 12月 1日			終了年月日/平成25年 3月 31日			
⑬必要な経費の項目毎に助成金として要望する金額を記入	項 目	単価	数量	金 額	自己資金額	要望する助成額	※ 北海道共同募金会受付欄
	ランチボックス	6,180	15	92,700	700	92,000	備品・機材購入以外でも要望する活動の所要経費の算出基礎を記入して
	食材購入費 (@1000円×週2回)	1,000	80	80,000	80,000	0	
	諸雑費 (連絡調整等の費)			2,000	2,000	0	
	メニュー印刷費	400	25	10,000	10,000	0	
合 計(円)			184,700	92,700	92,000	⑭助成金要望総額 (千円未満切り捨て)	
						92,000 円	千円未満を切り捨てた額を記入して下さい

【注】機関紙・パンフレット等、団体の活動内容がわかるものがある場合は添付して下さい。

活動団体の決算書(前年度のもの) 予算書(今年度のもの・次年度のものがあればあわせて)を添付下さい。

- ※ i) 団体・グループの規約・会則(若しくはそれに替わるもの)
 ii) 団体・グループの活動内容がわかるようなパンフレット、会報紙、機関紙
 iii) 会員名簿、協力ボランティア、サービス等の対象者名簿
 iv) 活動団体・グループの収支決算書(応募事業実施年度の前の年度のもの。作成中の場合はさらにその前の年度のもの)及び応募事業実施年度の収支予算書
 上記の i) ~ iv) を必ず添付して下さい

なお、この他にも応募の内容によっては見積書・カタログの添付が必要になります。

【記入要領】

要望する事業内容について、特に資金調達をどのような計画されているかを把握するために提出いただく書類です。できる

赤い羽根共同募金助成金
— 要望内容に係る収支内訳書 —

収支内訳書の内容について、照会する場合があるので、本要望事業内容の担当者のお名前、連絡先を

ここでの収支には今回の赤い羽根助成金予定額は含まれません

		団体・グループ名		〇〇〇〇ボランティアの会					
問合せ者(氏名)		札幌 花子		連絡先					
				tel(011) 231 - 8000 fax(011)231 - 8003					
				E-mail: dokyobo@akaihane-hokkaido.jp					
年度 に係る 資金の 活動の 全状況 に	事業実施年度の 運営資金の 状況 (再掲)	番号 / 収 入 項 目		収入金額内訳		番号 / 支 出 項 目		支出金額内訳	
		(1)会費(@3千円 /年)...		60,000 円		(i) 事務費 ...		30,000 円	
		(2)(**財団)助成金・補助金		30,000 円		(ii) 会報発行費 ...		40,000 円	
		(3)(**商事)からの寄付金		140,000 円		(iii) 訪問活動費 ...		100,000 円	
		(4)その他(宿泊研修参加費)...		300,000 円		(iv) 宿泊研修費 ...		360,000 円	
		(5)その他()		円		(v) ...		円	
		《収入計》		530,000 円		《支出計》		530,000 円	
活動名称(機材名)		在宅独居老人対象の手作り弁当供給用「宅配用保温機能付ランチボックス」購入							
要望内容区分(該当する方を○で囲む)		1. 活動の実施		2. 資料・備品・機材等購入(見積書を必ず添付のこと)					
助成を 要望する 活動 (備品 収入 内訳)	収 入 項 目		金 額		自己資金額との関係・内訳 支出内訳の番号		上記運営収入の状況-収入欄の 該当する項目番号と説明を記入		
	赤い羽根助成金予定額		92,000						
	会員からの会費収入		2,700		①、③		2,700 (1)会費収入の一部		
	(***財団助成金)		16,000		②		80,000 (2)助成金の一部		
	(**商事からの寄付金)		64,000		②		(3)寄付金の一部		
	(**商事からの寄付金)		10,000		④		10,000 (3)寄付金の一部		
収入合計(円)		184,700		92,700					
に 係る 資金の 状況 支出 内訳)	支 出 項 目		単価	数量	金 額	番号	自己資金額	要望する助成額	上記運営資金の状況-支出欄の 該当する項目番号と説明を記入
	ランチボックス		6,180	15	92,700	①	700	92,000	
	食材購入費 (@1000円×週2 諸雑費 (連絡調整等費用)		1,000	80	80,000	②	80,000	0	(iii) 訪問活動費
	メニュー印刷費		400	25	10,000	④	10,000	0	(i) 事務費
						⑤		0	(ii) 会報発行
						⑥		0	
	支出合計(円)		184,700		92,700		92,000		92,000
赤い羽根助成金が要望額を下回った場合の対処方法		・要望する赤い羽根助成金が予定額を下回った場合でも、数千円程度であれば、事務費等を切り詰め、予定数のランチボックスを購入したい。							
(また、上記収支資金内訳の補足説明欄)		・また、***財団の補助金に関しては、単年度助成となっているので、来年度からは、宅配先の対象者から1食あたり500円程度の自己負担をお願いすることを検討している。							

団体、グループが単年度ベースで調達予定の運営資金の状況の左側-収入欄の項目の番号等を記載

団体、グループが単年度ベースで調達予定の運営資金の状況の右側-支出欄の項目の番号等を記載

支出内訳の金額欄の右列の番号①~⑥の番号のうち、該当する番号を記入

要望する助成金の額が減額された場合の対処方法を具体的に記載のこと。
また、収支内訳書の内容について、補足説明がある場合に